

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	しあわせ駅系島		公表日 令和 7年 12月 13日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		クールダウンが必要な時など個室を確保し落ち着くまで根気強く待っています。	切り替えが難しい利用児童がいる場合、パーティション等もあればと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童発達支援と放課後等デイサービスの児童の送迎時間が被る為、職員間で意見交換して工夫しながら支援しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		古い住宅な為段差がありますが、マット等を利用し改善しています。	マット等で改善していますが、カラーテープなどで分かりやすく工夫したいと思っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		職員全員毎日、掃除や消毒等の環境整備に努めています。	明るいイメージが持てるようにカラフルな色を取り入れて工夫したいと思っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		和室や学習室を利用しています。	整理整頓を心がけ清潔感を保ちたいと思っています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日必ずではないが、ミーティングを行うようにしています。	連絡帳などで全員に周知するように努めていますが、ミーティングを増やしたいと思っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表については、事業所内で研修等をして改善に繋げています。	更に努力したいと思っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		話しやすい職員に相談しながら意見交換しやすくなるように伝えています。	職員が意見を述べやすい、話しやすい環境を作り、業務改善につなげていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修は多くは参加出来ていませんが、療育会議等の内容を職員に伝え資質向上に努力しています。	研修機会を増やす事に努力したいと思っています。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		モニタリングを行ったり、支援プログラム作成時、意見交換しながら適切になるように努めています。	モニタリングの回数を増やし、充実に努めたいと思います。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		活動記録に細かく日々の様子を記録し、モニタリングや保護者様のニーズを考慮し作成しています。	これからも保護者様と情報共有しながら更に細かく計画作成に努めたいと思います。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ミーティング等で全員の意見を聞き、その児童の最善の利益の考慮に努めています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画書を全員が目にし易い場所におき、計画に沿った支援ができるように努めています。	支援の見直しなど、意見交換を更に充実させ支援内容の向上に努めていきたいです。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の活動状況を丁寧に観察して、気が付いたことなど報告をしようと呼びかけています。	今後も更に努力したいと思っています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		具体的な支援内容に設定されるように努力しています。	本人支援も大切ですが、家族支援も重要だと考えています。家族支援によって本人支援が更に充実すると思いますので、改善点を模索したいと思います。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		特にチームで立案してはいませんが、全職員で意見交換しています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		同じ課題にならないように提案し合っています。	活動のマンネリ化は子ども達の成長の妨げになる と思いますので、SNS等も活用して、改善に繋げ ていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課 後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		概ね出来ていると思います。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内 容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		始業開始前にミーティングを行う努力していま す。	報告、連絡、相談に努めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の 振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日あった出来事の情報共有をし、気付きなど は連絡ノートも活用しながら共有しています。	送迎に出る職員もいますので、全員で打ち合わせ ができなくても、役割分担など話し合っていま す。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につ なげているか。	○		1人の職員で問題解決にかからないように、連絡 ノート等で情報共有に努め改善につなげていま す。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		概ねと出来ていると思いますが、適切か検討を細 かく行い、見直しに繋がりたいと思います。	職員全員の意識を高めて、取り組みたいと思いま す。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み 合わせて支援を行っているか。	○		概ね出来ていると思いますが、更に工夫したいと 思います。	工夫内容の検討に努める必要があると考えていま す。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己決定を大切にしながら支援するため、質問形 式の会話に二択を提示したりしています。	絵カードを使っていますが、新しくしていきたい と思います。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、 そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		市の支援会議には必ず参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教 育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		今はあまり出来ていないので、連携を模索してい ます。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻 の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適 切に行っているか。	○		学校のホームページを活用したり、保護者様との 連絡に努めています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		市からの案内等は保護者様に連絡したり、情報共 有に更に努力したいと思います。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している か。	○		県や市、関係機関からの案内等は保護者様に連絡 したり、情報共有に更に努力したいと思います。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		特にありません。	努力が必要だと考えています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する 機会があるか。	○		特にありません。	子ども食堂の参加などから、地域の子どもさん との交流を広げたいと思っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		必ず参加して内容を職員にも伝えているつもりで したが、十分ではなかったようですので、努力し たいと思います。	数名で参加し職員研修などに繋がりたいと思いま す。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課 題について共通理解を持っているか。	○		努力しています。	いつも送迎時や連絡帳で共通理解出来るようにし ているが、もっと連絡を取り合いたいと思いま す。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラ ム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会 や情報提供等を行っているか。	○		しあわせ駅でペアレント研修を実施していま すが、更に情報提供に努めたいと思います。	しあわせ駅ではペアレント研修を実施し、分かり やすく資料を作り情報提供していますが更に案内 など丁寧に対応したいと思います。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っ ているか。	○		契約時説明を丁寧に行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思 の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや 家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		送迎時や連絡帳などで子どもや保護者様の意向は 聞いていますが、これからも意向を確認する機会 を作っていくたいと思います。	更に努力したいと思います。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		電話やSNSで対応し努力しています。	SNSや電話、連絡帳でご家族の話も聞いていますが、もっと丁寧に対応したいと思います。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者様同士の交流はありませんがペアレント研修の際に交流されています。今後は別の機会がないか考えていきたいと思っています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付窓口があることは伝えていますが、更に周知して頂き、適切な対応に努めていきます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			SNSで日々の活動状況を発信しているのを見えていない方が多いようなので情報発信のご案内をもっとしたいと思います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		SNSなど、十分に注意しています。	細心の注意を払いたいと思います。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		十分に待つ姿勢でゆっくりと対応するなど、心掛けています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		中々出来ていませんが、地域交流も努めたいと思います。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事業所内研修でマニュアルの読み合わせ、避難訓練は必ず行っています。	訓練など努力していますが、その事も情報発信に努めたいと思います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		シミュレーション等しながら必要な訓練を続けていきたいと思っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		子ども状況説明の表を作成し掲示しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時等に確認して対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		努力しています。	今の安全管理に満足せず、疑問を持ちながら、更に安全性を高めたいと思います。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		文書などで行っていますが、更なる周知が必要だと思っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		掲示物にしたり、話し合いをし、検討を行っています。	環境整備にもっと注意を払い再発防止策に努めたいと思います。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員研修で氷山モデルなどを活用しています。	自傷なども防ぐことが出来るように研修機会を設けたいと思います。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		個別支援計画書に記載しています。		